\ 未知っち、見ちっち vol.1 /

科学者と表現者

the unknown world

科学との出会い。芸術との出会い。
新しい未知との出会い。
新シリーズ「未知っち、見ちっち」の第一回は、
国立科学博物館の五人の科学者と、
様々なジャンルの表現者が出会ってのお話会です。
科学と芸術で、いったいどんな話が展開されるのか、
来てのお楽しみ。
刺激と可能性、そして好奇心旺盛な人の
ご参加、お待ちしています。

其の一
11/ 7 sat
13:30-15:30
鉱物が好物 ♡ 石のイロ・カタチ、いろいろ
講師：門馬綱一（鉱物学）× 山崎哲一郎（画家）

其の二
11/21 sat
13:30-15:30
人はどこからやってきた？ ～ヒトの起源を求めて
講師：篠田謙一（分子人類学）× 菊地びよ（舞踏家）

其の三
11/28 sat
13:30-15:30
はるかな宇宙、彼方の私～帰りは夜空を眺めよう！
講師：洞口俊博（天文学・宇宙科学）× 小川信治（画家）

其の四
12/ 5 sat
13:30-15:30
あなたは今住んでいる地球の本当のことを知っていますか？
～ 数学的展開・結晶の世界 ～
講師：宮脇律郎（結晶学）× 中嶋浩子（アーティスト／デザイナー）

其の五
12/12 sat
13:30-15:30
見えないけど、そこにいる ～菌類のふしぎ
講師：細矢剛（菌学）× 青木美歌（美術家）

令和2年度 文化庁
地域と共働した博物館創造活動支援事業

OPAM
Oita 大分県立美術館
Prefectural
Art
Museum

大分県立美術館 教育普及室

〒870-0036 大分市寿町2番1号 TEL097-533-4502 http://www.opam.jp
http://www.facebook.com/OPAM education OPAM 教育普及FB

the unknown world

其の一

鉱物が好物 ♡ 石のイロ・カタチ、いろいろ

講師：**門馬綱一**（鉱物学）×**山崎哲一郎**（画家）

11月7日(土) 13:30-15:30

赤・青・黄色とさまざまな色だったり、半透明だったり、尖っていたりする様々な鉱物たち。
その美しさを、徹底的に語ります。

profile

門馬綱一 ◎もんま こういち

国立科学博物館 地学研究部 鉱物科学研究グループ 研究主幹
2009年東北大学大学院理学研究科地学専攻博士課程修了。物質・材料研究機構の研究員を経て、2011年より国立科学博物館の研究員となる。鉱物大好きでこの道に入り、数十ミクロンの鉱物結晶の撮影に情熱を傾ける。

山崎哲一郎 ◎やまさき てついちろう

大分県大分市生まれ。幼少の頃より鉱物・化石に興味を抱く。現在は進化の歴史をテーマに、化石をモチーフとして制作を行う。大分県立芸術会館（現・大分県立美術館）・別府市美術館・大分市美術館・大分県教育センター・西日本新聞社他に作品を収蔵。

其の二

人はどこからやってきた？ ～ヒトの起源を求めて

講師：**篠田謙一**（分子人類学）×**菊地びよ**（舞踏家）

11月21日(土) 13:30-15:30

お母さんの、お母さんの、お母さんの…から生まれてきた私たち。人類の起源に迫ります。

profile

篠田謙一 ◎しのだ けんいち

国立科学博物館 副館長 人類研究部長
古代人の人骨試料などに残っているミトコンドリアDNAを分析して、遺跡に眠る人々の由来や周辺集団との系統関係、あるいは彼らの血縁関係などについて調べ、過去における集団の移動や拡散、その起源について研究している。

菊地びよ ◎きくち びよ

子どもの頃からいわゆる体育会系で、大学以降、身体での表現を模索。大野一雄舞踏研究所を経て、ソロ、グループ、即興などさまざまな場での踊りやワークショップに取り組む。場としてのからだ・空間（からだの内・外）の意識、関係から踊り・表現を探求している。

其の三

はるかな宇宙、彼方の私 ～帰りは夜空を眺めよう!

講師：**洞口俊博**（天文学・宇宙科学）×**小川信治**（画家）

11月28日(土) 13:30-15:30

広大な宇宙。生まれては消えゆく無数の星々。世界や宇宙の構造をテーマに作品を制作している画家小川信治さんとともに、その神秘に迫ります。

profile

洞口俊博 ◎ほらぐち としひろ

国立科学博物館 理工学研究部 理化学グループ 研究主幹(天文学)
高温の星をとりまくガスの性質の研究や、江戸時代から現代にいたる天文学に関する資料の調査・収集・研究、そして星の進化や天体の距離を調べるなどさまざまな教材を開発している。

小川信治 ◎おがわ しんじ

見慣れた風景や名画などを改変して時間や空間の構造を考察し、世界の可能性を提示する作品を制作している。国立国際美術館、千葉市美術館、クラクフ現代美術館（ポーランド）などで個展を開催。OPAM教育普及のために「ダミアンのロンド」「ロンド6」を制作。

其の四

あなたは今住んでいる地球の本当のことを知っていますか? ～数学的展開・結晶の世界

講師：**宮脇律郎**（結晶学）×**中嶋浩子**（アーティスト／デザイナー）

12月5日(土) 13:30-15:30

原子配列は上手に行くと美しい。深い地底や宇宙の彼方からの手紙を読み解こう。

profile

宮脇律郎 ◎みやわき りつろう

国立科学博物館 地学研究部長
大学で分析化学を専攻し、元素の特徴を鉱物の結晶に求める研究に「はまって」しまう。結晶化学を専門に、特に、鉱物の結晶中の希土類元素の性質について研究している。地球がつぶやく言葉の意味を鉱物の結晶構造から説き明かし、地球の姿をまとめている。

中嶋浩子 ◎なかじま ひろこ

アーティスト、デザイナー。ドイツ、ゲッティンゲン大学数理研究科にて数学の学術資源「数理模型」や日本語オノマトペを図形化し連続模様の制作を通じて、連続する世界をテーマに模様（パターン）の制作と研究を行っている。

其の五

見えないけど、そこにいる ～菌類のふしぎ

講師：**細矢剛**（菌学）×**青木美歌**（美術家）

12月12日(土) 13:30-15:30

こんなところに可愛いイロ・カタチ! 肉眼ではなかなか観ることが難しい世界のお話です。

profile

細矢剛 ◎ほそや つよし

国立科学博物館 植物研究部 菌類・藻類研究グループ グループ長、標本資料センター 副コレクションディレクター、分子生物多様性研究資料センター 副センター長
製薬会社の研究員を経て2004年より現職、菌類の系統分類学的研究を行う。菌類は、動物でも植物でもなくカビ・酵母・きのこの仲間であり、人間の生活に深く関わっている。この菌類の世界をもっと知ってもらいたいと、特別展「菌類のふしぎ」の企画や講演などで、幅広く菌類の重要性をアピールしている。

青木美歌 ◎あおき みか

ガラス素材を使って不可視な世界との関係を問いながら制作をしている。菌類、ウイルス、細胞といったミクロなモチーフを扱い、目に見えるもの、見えないものその全てが相互に関連しあい変容しながら存在している生命の在り様を表現している。OPAM教育普及では、オリジナル教材『Hands on Works』で数点を所蔵する。

参加方法

- **会場**
  大分県立美術館 2階
  アトリエ+体験学習室
- **対象**
  中学生から一般（要事前申込）
- **定員**
  30名程度（各講座）
- **参加費**
  無料
- **申込方法**
  希望する講座名、氏名（ふりがな）、年齢、住所、電話番号（必須）を記入の上、往復はがき、またはホームページ [http://www.opam.jp] の申し込みフォームよりお申し込みください。定員に達し次第、ホームページで受付終了をお知らせします。
- **申込締切**
  各講座の3日前まで 必着!
- **お問い合わせ・お申し込み先**
  大分県立美術館教育普及室
  〒870-0036 大分市寿町2番1号
  tel:097-533-4502 fax:097-533-4530
  mail:edu@opam.jp

OPAM 大分県立美術館
Oita Prefectural Art Museum

大分県立美術館 教育普及室
〒870-0036 大分市寿町2番1号 TEL097-533-4502 http://www.opam.jp
http://www.facebook.com/OPAM education OPAM 教育普及FB

令和2年度 文化庁
地域と共働した博物館創造活動支援事業